

環境経営学会 2010年
第4回秋季研究報告 鳥取大会 および 同時開催シンポジウム
テーマ「サステイナブル経営とその条件」

1. 日時:2010年11月20日(土) 午前10時～午後6時
2. 会場:鳥取環境大学(鳥取市若葉台北 1-1)学生センター二階 多目的ホール
3. 大会委員長 : 鈴木 幸毅
4. 実行委員長 : 木俣 信行(鳥取環境大学)
実行委員 : 豊澄 智己(広島修道大学)、付 馨(鳥取環境大学)
5. プログラム
 - 1) 受付開始 9:30
 - 2) 開会 10:00
 - 3) 研究成果報告(報告時間:25分(20分報告5分質疑)ノ件) 10:05
 - ① 学会研究報告:サステイナブル経営のあるべき姿研究成果 木俣信行(鳥取環境大学)
 - ② 環境経営の海外展開 豊澄智己・金原達夫(広島修道大学)
 - ③ 兵庫県の企業の環境への取り組みの実態 井上尚之(神戸山手大学)
 - ④ 環境経営の波及メカニズムー途上国に立地する子会社の事例を中心に 羅 星仁・金原達夫(広島修道大学)
 - ⑤ CSRの生成および進化に関する一試論～「言説」概念をてがかりに 久富健治(神戸山手大学)

－休憩 12:10～12:40－

 - ⑥ 電気自動車の競争優位に関する研究 尾崎弘之(東京工科大学)
 - ⑦ グローバル生産を考慮した企業間比較を可能にする環境データ集計法 小泉翔太他(青山学院大学大学院)
 - ⑧ 企業のカーボンパフォーマンスの改善に係る日本の政策的課題と対応の方向性 ～英国との比較分析に基づく研究～ 荻巣和紀(京都大学大学院)
 - ⑨ 株式所有関係に基づく温室効果ガス排出配分手法の開発 本田智則(産業総合研究所)
 - ⑩ 日本企業における環境教育の産業分野別の実施状況ー日経 225 指標企業のケーススタディーー 九里徳泰、高田有、松岡志温(富山県立大学)

－休憩 14:45～15:00－

 - 4) シンポジウム「中小企業の地球温暖化に対応した戦略経営の方向を探る」 15:00
共催:鳥取環境大学ノ後援:鳥取県、鳥取商工会議所、鳥取県中小企業団体中央会
司会:衣川益弘(鳥取環境大学環境情報学部 教授)
 - ① 開会の辞 古澤 巖(鳥取環境大学 学長)
 - ② 来賓挨拶 平井 伸治(鳥取県 知事)
 - ③ 趣旨説明 木俣信行(環境経営学会副会長、鳥取環境大学環境情報学部 教授)
 - ④ 基調講演1:中小企業のカーボン・マネジメントの実態と課題 川村雅彦(ニッセイ基礎研究所 上席主任研究員)
 - ⑤ 基調講演2:ISO26000 いよいよ発行ー進むアジア諸国の対応ー 青木修三(帝京大学経済学部 教授)
 - ⑥ パネルディスカッション「地球温暖化とこれに伴う産業環境の変化に中小企業は如何なる対応の方向があるか」
モデレータ:後藤敏彦(サステイナビリティ日本フォーラム代表理事)
パネリスト:上記講師に加え 鳥取県・パネリスト(折衝中)
常田禮孝(鳥取県中小企業団体中央会・会長)
橋本来((有)オールエンジニア・サービス・代表取締役)
 - 5) 閉会 18:00
6. 参加料: ¥1,000(資料代)
7. 予定配布物
 - 1) プログラム、案内
 - 2) 梗概集
 - 3) その他
8. 懇親会
 - 1) 日時:2010年11月20日(土) 午後7時00分～8時30分
 - 2) 会場:鳥取市内予定
 - 3) 会費:5,000円程度を予定

以上